

地域の課題解決に貢献する 児童館とNPOの協働事業に 助成をします

これまでに、例えばこんな活動に助成をしました

災害支援を専門とするNPOと、
子どもたちがまちを歩きながら考える
「避難経路ウォーキング」をしました。



災害支援 NPOが持つ「防災マップ」作りのプログラムをもとに、児童館と NPOで意見を出し合い、子ども向けにロールプレイングゲームとしてアレンジをしました。子どもたちは地図をもとに避難経路を進みながら、各所で待ち受ける関門を自分たちで判断してクリアしていき、ゴールである避難所(学校の体育館)を目指しました。

準備からまちづくり団体や地域のお店、自治会などに幅広く協力を呼びかけました。結果、当初想定していた NPOと児童館のほかに、上記の地域団体、近隣の3つの児童館、まちづくり協議会、市からは教育委員会、防災課、地域振興課が参画。親御さんもボランティアとして協力くださって、地域ぐるみの取り組みになりました。

準備から当日まで地域に関わる団体に参加を呼びかけたことで、地域全体で子どもを見守ることを地域に定着させることができました。

子どもの健全育成環境をつくるために「地域ぐるみで共に支え育ちあう」仕組みを、多様な主体の「連携」や「協働」でつくることが期待されています。本プロジェクトでは、行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に課題に気づき、NPO や児童館も含めて互いに学びあう環境を創出することを目指しています。

これまでの活動事例はホームページをご覧ください
www.npo-dondoko.net

主催：特定非営利活動法人 日本NPOセンター

協力：財団法人 児童健全育成推進財団 協賛：一般財団法人 住友生命福祉文化財団

プロジェクトの趣旨に賛同して協働事業を行いたい児童館を募集します。NPO や児童館との協働経験は問いません。また、地域のNPOや児童館とのつながりがなくても応募いただけます。新規事業を企画しても、既存事業をバージョンアップする形でも結構です。児童館「だけ」、NPO「だけ」でプログラムを実施するのではなく、多様な団体と協働してみたい!という思いのある児童館をお待ちしています。

助成対象は？

本事業の趣旨に沿って、選考委員会にて審査します。その際、以下の視点を重視し、検討します。

協働性：児童館とNPOの両方の強みを生かして、互いに成長できるか。

地域性：地域の様々な関係者を巻き込むことができるか。

社会性：地域課題との接点が意識されているか。

実現性：実現可能性があるか。予算配分やスケジュールは妥当か。

主体性：子どもが主役になれるか。

現時点で協働相手が決まっていない場合は？

「こういうことをしてみたい」という希望を書いて応募してください。協働相手を紹介できるかどうか、事務局で調整をします。なお地域に協働できる相手がない場合は事業ができないことがありますので、ご了承ください。

助成概要

助成金額：上限 20 万円

助成期間：H26 年 7 月～ H27 年 2 月末日

助成使途：協働事業にかかわる経費。採択後、事務局と計画を調整して確定します。

協働の対象：協働相手となる「NPO」は市民活動団体であれば法人格の有無を問いません。

NPO が運営している児童館も応募いただけますが、自団体は協働相手にできません。

※過去に本事業の助成を受けた児童館は、継続用の応募用紙を用意していますので、お問い合わせください。

応募方法

所定の申し込み書を5月6日（火）（必着）までにお送りください。

FAX・Emailでの送信が可能です。

お送り先

財団法人児童健全育成推進財団
（担当：広報部 阿南）

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 2-12-15-7F

FAX: 03-3486-5142

in4@kodomo-next.jp

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本NPOセンター
（担当：吉田）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1
新大手町ビル 245

TEL: 03-3510-0855

財団法人 児童健全育成推進財団
（担当：広報部 阿南）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
日本薬学会ビル 7F

TEL: 03-3486-5141

（※児童健全育成推進財団は4月1日から一般財団法人になります）